

用途

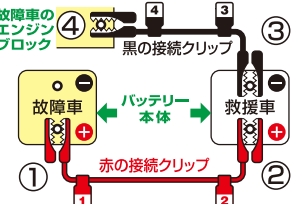
本品は、車のバッテリーが放電し、エンジンが始動できなくなったとき、他の正常な車両のバッテリーから電気を引き込むことによって始動できなくなった車のエンジンを始動させるために使うものです。ご使用になる前に以下の取扱説明をよくお読みになり、使用方法を理解した上で正しくお使いください。なお、誤った使用による事故責任は一切負いかねますのでご了承ください。

使用上のご注意

- ブースターケーブルには許容電流があります。ご使用の車に合ったブースターケーブルをお選びください。(バッテリー容量に対して、許容電流の小さいブースターケーブルを使用すると、エンジンが始動しないほか、ケーブルや接続クリップが発熱、溶解して危険です。また、バッテリーの状態によってはエンジンが始動できない場合もあります。)
- バッテリー容量が同じか、それ以上の救援車を選択してください。
- 12Vディゼルス・12VJLPG車は起動電力が大きいので、許容電流80A以上のブースターケーブルをご使用ください。
- 寒冷地仕様車・輸入車は、バッテリー容量が大きいので、1ランク大きい許容電流のブースターケーブルをご使用ください。
- 屋内では絶対に使用しないでください。(風通しのよい屋外で使用してください。)
- 電圧(ボルト)の異なる車には絶対に接続しないでください。
- ご使用前に、ケーブル、接続クリップに腐食や破れがないことを確認してください。
- ブースターケーブルがファンベルトや冷却ファンに巻き込まれないように接続には十分注意してください。
- 作業中の誤接続(以下記載の接続方法以外の接続)、ショート(赤の接続クリップと黒の接続クリップの接触)は絶対にしないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。
- 作業中、接続クリップを車のボディに接触させないでください。
- 使用中に接続クリップが外れないように、しっかりと接続してください。
- 使用中に火気を近づけたり、引火しやすい物のそばでは絶対に使用しないでください。バッテリーが発熱するおそれがあり、大変危険です。
- エンジン始動の際は、始動を3秒間以下、休止時間7秒間以上、繰り返し回数10回以下を厳守してください。多回数、長時間の使用はケーブルや接続クリップが発熱、発煙、溶解しますので大変危険です。
- 使用後やエンジンが始動しないときは、ケーブルや接続クリップが熱くないことを確認してから取り外してください。
- 用途以外には使用しないでください。

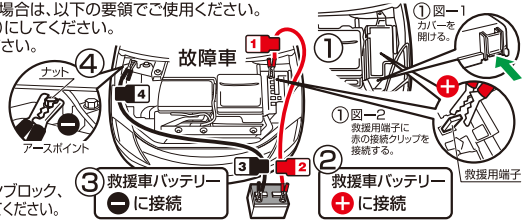
接続方法A (一般車およびエンジンルーム内にバッテリーがあるハイブリッド車)

- ご使用になる前に、必ず車両の取扱説明書に記載されている「バッテリーあたり」に関する項目をよくお読みになり、正しくお使いください。
 - お手元に説明書がない場合は、以下の要領でご使用ください。
 - エンジンキーは故障車、救援車ともにOFF(切)にしてください。
 - コードに付いているタグの番号順に接続してください。
 - ①故障車のバッテリー(+)端子に赤の接続クリップを接続してください。
 - ②救援車のバッテリー(+)端子にもう一方の赤の接続クリップを接続してください。
 - ③救援車のバッテリー(-)端子に黒の接続クリップを接続してください。
 - ④もう一方の黒の接続クリップを故障車のエンジンブロックに接続してください。
- エンジンブロックに接続できない場合は、エンジンルーム内の未塗装の金属部へ接続してください。



接続方法B (エンジンルーム内に救援用端子があるハイブリッド車)

- ご使用になる前に、必ず車両の取扱説明書に記載されている「バッテリーあたり」に関する項目をよくお読みになり、正しくお使いください。お手元に説明書がない場合は、以下の要領でご使用ください。
- エンジンキーは故障車、救援車ともにOFF(切)にしてください。
- コードに付いているタグの番号順に接続してください。
- ①故障車のヒュースボックスのカバーを開けて、救援用端子に赤の接続クリップを接続してください。
- ②救援車のバッテリー(+)端子にもう一方の赤の接続クリップを接続してください。
- ③救援車のバッテリー(-)端子に黒の接続クリップを接続してください。
- ④もう一方の黒の接続クリップを故障車のエンジンブロック、またはエンジンルーム内の未塗装の金属部へ接続してください。



エンジンの始動方法

- ①接続クリップがバッテリー端子にしっかり接続されていることを確認してください。
- ②救援車のエンジンキーを回し、エンジンを始動させてください。(エンジンの回転数を少し高めにしてください。)
- ③AT車は必ずパーキングレンジにしてください。MT車はニュートラルにして、サイドブレーキを必ずかけてください。
- ④5〜10分間ほどそのままにして、故障車のバッテリーに補充充電することをお勧めします。
- ⑤故障車のエンジンキーを回してください。(3秒間以下)
- ⑥エンジンが始動しない場合は、7秒間以上おいて、再度エンジンキーを回してください。(3秒間以下)
- ⑦上記④〜⑤の作業を10回程度おこなってもエンジンが始動しない場合は、作業を中断し、さらに許容電流の大きいブースターケーブルに替えるか、他の故障原因をお調べください。

ブースターケーブルの取り外し方

- 故障車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルが熱くないことを確認して、接続時と逆の手順(接続方法④→③→②→①の順序)で取り外してください。

保管方法

- ケースに入れ、湿気の少ない車のトランク内等に保管してください。
- 直射日光の当たる所や、水、湿気の多い場所には保管しないでください。

主な仕様	品番	No.1632	全長	3m
	品名	ブースターケーブル 12V・50A・3m	芯線材質	CCA
	許容電流	50A	被覆材質	PVC
	断面積	3.77sqmm	質量	590g
	芯線構成	φ0.31mm×50本	適応クラス	軽～小型乗用車

大橋産業株式会社

〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号
TEL (06)6996-2631(代) 大阪本社 東京支店

URL <http://www.bal-ohashi.com>



MADE IN CHINA

※改良のため、予告なく仕様及び外観を変更することがあります。
※本製品は日本で企画・開発し、中国で製造しています。

